

真の日本一を決める長縄跳びの大会  
日本全国どこからでも参加OK

# ALL JAPAN 長縄選手権 2019

長縄8の字跳び部門

大縄跳び部門

ダブルダッチ部門

∞ 挑戦期間 ∞

2019年6月8日～2019年12月31日

(エントリー受付 2019年12月17日まで。結果は2020年1月14日発表予定)

☆参加資格はとってもシンプル!

∞ 挑戦した動画を撮って送るだけ ∞

(スマートフォン、ビデオカメラ等)

詳しくは、

検索

<https://fujinawa-8-3776-shizuoka.com/>





## 【開催部門】・・・3部門19カテゴリーで開催！

**部門**：8の字跳び、大縄跳び、ダブルダッチ

**カテゴリー**：A、B、C、Dの4つ

☆カテゴリーの基準は、ジャンパーが

A：小学生のみ B：未就学児～小学3年生 C：小学生4～6年生 D：中学生以上

### ≪8の字跳び部門≫

→ 長縄に1人ずつ入って跳んだ累計回数

- ①30秒スピード (A：小学生のみ)
- ②1分間スピード (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)
- ③3分間スピード (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)

※ターナー規定 A：小学生のみ、B、Cは2人とも小学生または、片方は中学生以上でもよい。  
D:2人とも中学生以上または、片方は小学生以下でもよい。

### ≪大縄跳び部門≫

→ 1分間に大縄の中のジャンパーが両足で同時に跳んだ人数×回数

- ④1チーム12人以下 (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)
- ⑤1チーム13人以上 (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)

※ターナー規定 A：小学生のみ、B、Cは2人とも小学生または、片方は中学生以上でもよい。  
D:2人とも中学生以上または、片方は小学生以下でもよい。

### ≪ダブルダッチ部門≫

→ 3人で1チーム。2本の長縄を交互に回している(ダブルダッチ)中に入り、1人のジャンパーが両足跳びで跳んだ累計回数。

※ 跳び手は1人。ターナー2人。かけあし跳び×

- ⑥ダブルダッチ両足跳び30秒スピード  
(B：未就学児～小学3年生、C：4～6年生、D：中学生以上)
- ⑦ダブルダッチ両足跳び1分スピード  
(B：未就学児～小学3年生、C：4～6年生、D：中学生以上)

※ターナー規定：未就学児～中学生以上までの2人ペアなら誰でもよい。

## 【エントリー方法】

### ①一般社団法人 E-JumpFuji のホームページよりエントリーを行う。

ホームページ URL <https://fujinawa-8-3776-shizuoka.com/>



ホームページ QR コード

### ②選手個人の参加料は、無料。エントリー費は、部門やチームの人数に関わらず、1 カテゴリーにつき1チーム1,000円とする。

- ・参加チームのメンバーが18歳未満のみで構成されている場合、必ず18歳以上の保護者または学校の先生などの大人がエントリーの手続きをしてください。
- ・学校で出場する場合は、必ず校長先生の許可をもらってからエントリーしてください。  
(エントリー受付後に、エントリー費の請求が行われます。ご了承ください。)
- ・選手が複数のチームに所属する選手の重複エントリーは可能とします。ただし、チーム全員が同じ選手で、同じ種目やカテゴリーに参加するといった「チーム重複エントリー」はできません。
- ・同じ責任者または保護者が、複数チームエントリーすることができます。ただし、1 カテゴリーにつき1チームに1,000円が必要となります。  
(例：同じチームメンバーで、長縄8の字跳びの30秒スピードと1分間スピードに参加の場合、30秒スピードで1,000円、1分間スピードで1,000円となり、合計2,000円必要となる。)

### ③エントリー後、一般社団法人 E-JumpFuji からのメールの返信の内容に沿ってエントリー費の支払いを行い、エントリー完了メールが届いたら、記録にチャレンジしたり、記録を送付したりできる。

- ・ルールなどに沿って、子どもも大人も日本一を目指して何度でも記録にチャレンジしてください。

### ④8の字跳び部門、大縄跳び部門のエントリーの際、学年や年齢のカテゴリー(①~③)は、チーム所属メンバー内の一番大きい学年の子どもの学年とする。

(例：チーム構成メンバーが1年生3人、2年生5人、6年生1人の場合→②の4~6年生にエントリーすることになる。)

ダブルダッチは、ジャンパーの学年や年齢のカテゴリーとなる。

**エントリーの受付は2019年12月17日まで。跳戦は、12月31日まで。**

## 【チャレンジ方法】

### ①1回のエントリーで、何度でも記録を送ることができる。

- ・締め切り1カ月前(2019年12月1日24時)までに必ず1回は記録を提出してください。
- ・1カ月前までに記録の提出の確認ができないチームは、エントリー取り消しとします。その場合のエントリー費の返金はいたしません。

### ②チャレンジの様子は、スマホやビデオカメラで撮影し、事務局へ送る。

- ・スマホやタブレットの場合は、エントリー完了メールにあるLINEのQRコード(長縄選手権2019のライン)、またはホームページの本団体フェイスブックのタブからメッセージにて、動画とエントリー番号とチーム名と記録(回数)を送付してください。届いた動画は、こちらでも再計測いたします。
- ・パソコンで動画を送る場合は、ギガファイル便を利用し、[fujinawa.8-3776@shizuoka.tnc.ne.jp](mailto:fujinawa.8-3776@shizuoka.tnc.ne.jp) まで

で動画とエントリー番号とチーム名と記録（回数）を送付してください。

・撮った動画を DVD で送る場合は、事務局まで郵送にて送ってください。その場合、ディスクにエントリー番号とチーム名を書き、必ずファイナライズを行ってください。

※ 動画は、必ずチャレンジしているターナーが画面内に必ず映るように、**カメラを固定して撮影**してください。（手で撮影機器を持って撮影する場合、手振れにご注意ください）

### ③ チャレンジ期間終了後、最終順位を決定し、上位三位までに賞と副賞を授与（送付）する。

・チャレンジ期間・動画送付の締め切りは、**2019年12月31日（火）の24時まで**とします。

・郵送の場合、締め切り日の消印日まで有効とします。

・各部門での参加チームの記録は表示せず、チーム名、参加チーム数、各部門やカテゴリでの順位のみ1週間に1回程度更新して公開します。また、2019年12月17日からは、順位公開の更新はいたしません。結果発表までお待ちください。

・記録が同じ場合以下の優先順位で順位を決定いたします。

①最終記録提出日が早い方

②エントリー日時が早い方

③ジャンパーの数が少ない方（8の字跳び、大縄部門に限る）

※①～③の規定でも順位決定がされないときは、どちらも表彰します。

## 【競技ルール】

### ○8の字跳び部門

#### 《30秒スピード》

・1チーム3人以上14名以下にする。

・カウントは、先頭の選手が跳び始めて足が地面から離れたところから、30秒間とする。

・何回つかえても30秒の間なら何回でもリスタートできる。

・30秒になった時、地面に足がついていないジャンパーがいる時、その前のジャンパーまでをカウントする。

・つかえた時のジャンプは、カウントしない。

・記録は、「人（にん）」と表示する。

・ターナーは、両方とも小学生とする。

・ターナーの片方が中学生以上でのエントリーは参考記録となり、入賞対象から外れる。

・使用する縄の素材は何でもよい。長さは4メートル以下とする。

#### 《1分間スピード、3分間スピード》

・1チーム3人以上で構成する。（上限なし）

・カウントは、先頭の選手が跳び始めて足が地面から離れたところから、1分間または3分間とする。

・何回つかえても1分間または3分間の間なら何回でもリスタートできる。

・つかえた時のジャンプは、カウントしない。

・1分間または3分間になった時、地面に足がついていないジャンパーがいる時、その前のジャンパーまでをカウントする。

- ・記録は、「人（にん）」と表示する。
- ・小学生以下の部（①未就学児～小学3年生②4～6年生）では、ターナーの片方は、中学生以上の保護者や学校の先生、またはチーム責任者や監督などの大人が勤めることができる。
- ・ターナーが、両方中学生以上でのエントリーは、カテゴリー③中学生以上へとなる。
- ・使用する縄の素材は何でもよい。長さも規定しない。

## ○大縄跳び部門

### 《D：12人以下でのチーム編成、E：13人以上でのチーム編成》

- ・1チーム3人以上12人以下または、13人以上で構成する。（2部門開催）
- ・ジャンパーが跳び始めてから、1分間がスタートする。
- ・記録は、「人（にん）」と表示する。
- ・1分間に**チームで跳んだ回数×ジャンパーの人数＝記録（人）**とする。
- ・何回つかえても1分間の間なら何回でもリスタートできる。
- ・つかえた時のジャンプは、カウントしない。
- ・1分間経過した時に、ジャンパーが空中にいる時は、その前までの回数で記録を計算する。
- ・1分間は、最初から最後までエントリーメンバーまたは、それ以下のメンバーで跳びきる。途中から、ジャンパーのメンバーが増えたり減ったりした場合の記録は、無効とする。
- ・小学生以下のカテゴリーでは、ターナーの片方は、中学生以上の保護者や学校の先生、またはチーム責任者や監督などが勤めることができる。
- ・ターナーが、両方中学生以上でのエントリーは、カテゴリー③中学生以上へとなる。
- ・使用する縄の素材は何でもよい。長さも規定しない。

## ○ダブルダッチ部門

### 《ダブルダッチ30秒、ダブルダッチ1分》

- ・1チーム3人とする。
- ・カウントは、ジャンパーが跳び始めて足が地面から離れたところから、30秒間とする。
- ・ジャンパーの跳び方は、**両足跳び**で行う。
- ・何回つかえても30秒の間なら何回でもリスタートできる。
- ・30秒になった時、地面に足がついていない時、その前までをカウントする。
- ・つかえた時のジャンプは、カウントしない。
- ・記録は、「回（かい）」と表示する。
- ・ターナーは、未就学児から中学生以上の2人組なら誰でもよい。
- ・使用する縄の素材は何でもよい。長さも規定しない。

## 【表彰】

### 《8の字跳び部門 30秒スピード》

→1位～3位に賞状（チームで1枚）、個人の認定証（人数分）、副賞

※1位のチームには、**第4回全国なわとびスピードコンテストに推薦枠として出場できる権利**が与えられる（出場するか否かは任意。全国大会までの参加費、交通費、宿泊費、食費などの費用は、出場チーム様のご負担となります）

### 《8の字跳び部門 1分間、3分間、大縄跳び部門、ダブルダッチ部門》

→1位から3位に賞状（チームで1枚）、個人の認定証（選手人数分）、副賞

#### ○各部門に以下の特別賞を設ける（1チームずつ）

- ・ **キズナ賞** → 家族での参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **タウンシップ賞** → 地域やクラブチーム等の参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **レッツ賞** → 学校のクラスの仲間での参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **チームワーク賞** → 会社の仲間との参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **エイト賞** → 8の字跳びに参加した団体の中で、チームの人数が一番少ない団体に贈られる。  
同人数の場合、記録が上位のチームに贈られる。
- ・ **ガッツ賞** → 送られてきた動画の中で、チャレンジ後に気持ちよく家族や仲間たちと喜んでいるシーンが映っている団体に贈られる。

☆各賞、賞状（チームで1枚）、副賞（なわとび関連グッズ）☆

（表彰後のお願い）

送付された賞状や認定証をもったチームの集合写真を一般社団法人 E-JumpFuji の事務局へ送付する。（送付された写真は、ホームページ上にアップさせていただきます）